受信欄

皆さんのご要望に答えて前回より各先生がたのご消息連絡文を掲載させていただいて居りますが、今回も左記先生がたより連絡がありましたので、本校ご着任順に掲載致します。（　）内本校ご在職期間

○尾原演子（数学）
（昭和19・8～44・3）

皆様お元気でお過しの事と存じます。退職してから約20年近くになりましたが数年前より体調がすぐれず青葉会にも出席出来ませんので皆様に宜敷くお伝え下さい。ご盛会をお祈りして居ります。

○内田留蔵（教頭）
（昭和33・9～43・3）

□現在の仕事

小生、東京府立第三高女（現・都立駒場高校）・府立第六高女（現・都立三田高校）・東京都大田区出雲中学校・馬込中学校の教諭・教頭・校長を歴任、昭和48年迄の教職経験は38年間。昭和48年4月より神奈川県鶴見女子高校に勤務その間10年。教職経験累計48年で退職。現在は体験を基礎に教育関係著書出版に従事中。出版著書名は少年・少女のための話の泉・続編少年・少女のための話の泉・専門書としては東洋中世史上の唐の都「長安の研究」について等。

□家族状況

①小生夫妻健在、現在長男（銀行員）夫妻、子供二人と同居。

②長女・二女は茅ヶ崎市に在住、夫君は高校教師。③三女は横浜市戸塚区に在住して家業従事して居ります。

恩

□所感

小生夫妻は明治末期・大正初期の生れであるから大分くたびれてはいるが、一つの目標に向っての人生であるから年齢相当の気力・元気さは持っているつもりである。

今後もその道を歩み続けることと思います。

名門校「三田高校」の卒業生の皆さんも自分という人生を大切にして堅実に目標を定めて力強く歩き続けていただきたい。最後に皆さんと共に母校の発展を心から祈念し筆をおきます。

○中村泰造（生物）
（昭和23・11～39・3）

一、「ともがき」手にしたことがありません、ので皆様の消息などしらず失礼しています。

二、現在、三田高に近い麻布元町に建つ私立「麻布学園」に勤めています。

中学と高校とあり、一貫教育というので受験校として知られていますが、昔の三田定時制のような、なごやかな雰囲気はありません。

三、学校でも自宅へでも遊びにお出かけ下さい。

（自宅・江東区亀戸2-6-30 清和レジデンス209号 電話 637-5010）

○藤井秀夫（社会）
（昭和26・1～28・3）

皆さん、お元気ですか。私も元気です。一九六九年から今日に至る迄、メソポタミアの考古遺跡の調査（日本隊の隊長）に没頭しています。

大体の概要はNHK出版のシルクロード第八巻「コーランの世界」に執筆していますからお読み下さい。今年の12月10日放映予定の「メソポタミアを掘る」と言うタイトルのシルクロード番組で、皆さんにお目にかかりたいと思います。

師

さようなら

（現職・国士舘大学教授 イラク古代文化研究所長）

○杉田佐紀子（英語）
（昭和29・4～32・8）

津田英語会（千駄谷駅前）と自宅で少々英語のクラスを持っております。二人の娘も独立して夫と二人暮らしです次女は都立高校で英語を担当しております。

三田高校時代の生徒さんは皆さん本当によく頑張っていらっしゃいましたね。青葉会のご発展を祈ります。

11月23日は午後から伺いたいと思っております。

○高尾　障（保体）
（昭和38・4～48・3）

相変らずの考え方で武蔵野北高校生徒を教えています。17年振り（三田高校以来はじめて）に、思うことあって担任をしています。いろいろ大変ですが、教師は矢張り担任の仕事が大切だなーと思います。クラスの和、人間関係創りを大切にしようと唯これだけを教えています。

娘は大学を出て、今息子が高三の大変な時を迎えています。男子生徒にバンカラ体質がうまれ、リーダーシップを取ろうとしない傾向に、21世紀（私が70歳）の高齢者社会は、大丈夫なのだろうか、姥捨山だけが作られるのではと心配になってます。

○萱原昌二（日本史）
（昭和39・4～42・3）

本校の修学旅行で三重県の志摩・伊勢方面に出かけていますので残念乍ら23日の青葉会には欠席いたします。

近

青葉会の発展をお祈り申しあげます。

近況～京橋高校の定時制担当の教頭も早いもので三年目となりました。

○片山恒雄（理科―化学）
（昭和39・4～48・3）

長らく御無沙汰して居ります。私の教員生活も31年目になります。在職9年間の三田高はど、私にとって思い出の深い学校は外に無かったと、今更乍ら驚いて居ります。

皆様の御健康を心からお祈り致します。現在は砧工高校で化学を教えて居ります。

○小西邦彦（英語）
（昭和45・4～52・3）

今年3月末で教職を退きました。丁度25年の教育生活でした。今は渋谷で趣味の切手を中心にした商売をしています。学生時代までのポピーが仕事になったわけです。

三田高校時代が懐しいです。

○久保道雄（教頭）
（昭和51・4～57・3）

私は本年三月末に定年退職しました。

昭和23年以来37年間の教員生活でした。その中の六年間を三田で過しましたが本当に良い思い出にみちた楽しい日日であったと、懐しく思い出しています。

さて、現在は去る四月一日より都教育委員会の中央就学相談所という所で相談員として元気に働いています。定時制・通信制高校への就学をあっせんする仕事です。国電の水道橋駅前の都立工芸高校の二階におります。是非立ち寄って下さい。

○寺井　敬（国語）
（昭和51・4～53・3）

拝啓　新涼の佳き日に恵まれ私も家族も元気で暮しております。

況

現在では青山通っており、目下文化祭の準備に熱を挙げている処です。

三田校での三年間にいい生徒に囲まれ楽しく過ごさせて頂きました。更に校長先生、教頭先生をはじめ素晴しい同僚の方々とも親しくつきあって頂き心から感謝しております。今後ともよろしくお願い致します。

小春日を三田に賜はる

いつくしみ　風琴敬具

○藤本善竜（英語）
（昭和38・4～51・3）

江北高校定時制に来てからそろそろ10年になります。四年生の就職の係りですが、なかなかうまくいきません。

往復85粁の車通勤で、そろそろキンゾク疲労です。

皆さんお元気で。

◇母校職員の異動◇

○ご退任

古松　彰校長
菊池廣夫教頭
石間力太郎先生（英）

○ご転任

田村陽子先生（司書）
都立上野忍岡高校へ

○ご着任

薩川倪二校長―
都立小笠原高校校長より
黒沢　陸先生（英）―東高校
並木洋之先生（国）―
野津田高校より
中崎裕江先生（司書）―
羽田工業高校より

昭和59年度『北原奨励賞』受賞者

小宮山美鈴
熊倉樹仁緒

昨年度より制定された北原先生のご遺志による在校生徒への勉学奨励の援助として、実施されております「北原奨励賞」の本年度の受賞者は左記二名に決定されました。よって三月八日の卒業式席上本人達への伝達が青葉会の石田会長より行なわれました。

今なお健在

"かつての佳人 レニ・リーフェンシュタール"

中山市太郎
（昭和43年卒）

若き日のレニ・リーフェンシュタール

振り出しは放送記者、そしてドキュメンタリ番組の制作。

今はビデオディスクのプロデューサーと、もうかれこれ十二年近くもジャーナリズムの世界でメシを食っているといろいろな体験をしたり、思いがけない人と出会う。

ヒゲの男（中山）と握手する老いてカクシャクたるレニ・リーフェンシュタール

その人に会ったのは、六月も上旬の北亜的暖かい日であった。なまり色の重たい雲が漸く途切れ、南ドイツ地方特有の明るい初夏の陽差しが輝き出した季節である。ミュンヘンから登山列車に乗りこみ、スイスとの国境沿いの村にむかうと、目指す（その人）の家が見えてきた。谷間の、わずかな平地にへばりつくように建ったその小屋は…しかしその家の主にふさわしく壮重な造りで、手入れも行き届いており、周辺を圧倒していた。

レニ・リーフェンシュタール――八五歳の彼女は、もはや忘れ去られんとしている映像作家だが、伝説とまでなっているナチ党大会の記録映画『意志の勝利』や、ベルリンオリンピックの記録映画『民族の祭典』を監督した女傑として勇名をはせた老婦人である。

彼女はしょう洒な山小屋造りの別荘で、はるばる日本から来た私達取材班を迎えてくれたが、その風貌は驚くほど精力的である。自信に満ちあふれていた。いまなおひとりで海に潜り、写真集『サンゴの庭』やアフリカのヌバ族を題材にした写真集『ヌバ』などを発表しつづけるには、まさしく"二十世紀を走り抜ける映像の美神"と呼ばれるにふさわしい芸術家の顔を持っていた。戦前監督した記録映画はいづれも芸術かプロパガンダかでこれまで歴史上の論争の的になってきたが、その功罪はとも角、レニ自身の計りしれない創造力とエネルギーは少しも衰えていないようだ。それどころか、（次頁へ）